

東京都美術館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「クリムト展 ウィーンと日本 1900」	2019年4月23日～ 7月10日	19世紀末ウィーンを代表する画家グスタフ・クリムト（1862-1918）。華やかな装飾性と世紀末的な官能性を併せ持つその作品は、いまなお圧倒的な人気を誇ります。本展では、「黄金様式」の時代の代表作をはじめ、甘美な女性像や風景画等の他、ウィーン分離派会館を飾る壁画の精巧な複製を展示します。さらに、同時代のウィーンで活動した画家たちの作品や、クリムトが影響を受けた日本の美術品等も併せ、ウィーン世紀末美術の精華をご覧ください。
「都美セレクション グループ展 2019」	2019年6月9日～30日 *グループ毎に会場を分けて開催	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、当館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し実施します。2019年度は、審査により選出した3グループの展覧会を開催します。
企画展 「伊庭靖子展 まなざしのあわい」	2019年7月20日～ 10月9日 21時まで特別開室： 7月26日、8月2日、9日、16日、23日、30日	誰もの身近にありそうな寝具や花器などをモチーフに、質感やそれらが纏う光や空気を表現しつづけてきた伊庭靖子(いばやすこ)(1967-)。美術館では10年ぶりの個展となる本展では、油彩に加え、版画・映像も発表する予定です。当館で撮影した写真をもとにした作品をはじめとする近作・新作を中心に紹介しながら、そこに至る以前の作品も併せて展示することで、この10年の変化とともに伊庭靖子の変わらない関心の核に迫ります。
特別展 「コートールド美術館展 魅惑の印象派」	2019年9月10日～ 12月15日	世界有数の印象派・ポスト印象派のコレクションを誇る、ロンドンのコートールド美術館から絵画・彫刻約60点が来日。画家の語った言葉や同時代の状況、制作の背景、科学調査により明らかになった制作の過程など、コートールド美術館の長年にわたる研究の成果も紹介し、作品を読み解いていきます。マネの傑作《フォーリー=ベルジェールのバー》やルノワールの《棧敷席》をはじめ、セザンヌ、ゴーガン、モネ、ドガらの作品を紹介します。
上野アーティストプロジェクト2019「美術」	2019年11月16日～ 2020年1月5日	公募団体に活躍している現代作家を紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第3弾です。「子どもへのまなざし」をテーマに美術公募団体に所属している作家を複数選出して作品を展示し、各作家の魅力を紹介します。
コレクション展	2019年11月16日～ 2020年1月5日	同時開催の「上野アーティストプロジェクト」のテーマに合わせて、現在、東京都美術館で収蔵している美術作品を展示します。美術の世界を分かりやすく紹介し、広く一般に伝える展覧会といたします。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920

http://www.tobikan.jp

※ 開館時間：9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※ 休館日：第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

東京都美術館(2)

事業名	会期	概要
特別展 「ハマスホイとデンマーク 絵画」	2020年1月21日～ 3月26日	静かな室内の情景を描き続けたデンマークを代表する画家ヴィルヘルム・ハマスホイ(1864-1916)は、“北欧のフェルメール”とも評され、2008年の回顧展以来、日本でも脚光を浴びています。ハマスホイをはじめ、「黄金期」と呼ばれた19世紀デンマーク絵画の精華を日本で初めて本格的に紹介する展覧会となります。デンマークが生んだ珠玉の絵画の数々をぜひご堪能ください。
「とびらプロジェクト」フォーラム	2020年2月	当館は、東京藝術大学と連携し「とびらプロジェクト」を実施しています。市民、美術館学芸員、大学教員の3者が対等な目線で対話を重ね、プログラムを実施するなど、アートを介した人々の新しいコミュニケーションが生まれています。フォーラムでは、現在約120名からなるアート・コミュニケーター(とびラー)が所属する「とびらプロジェクト」の具体的な活動を紹介するとともに、パネルディスカッション等を実施します。アート・コミュニケーターの新規募集にあたり、活動の詳細がわかる、年に1度の機会となります。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日 など年間10回程度	展覧会だけではなく、美術館の建物そのものも楽しんでほしい！そんな思いから始まったツアーです。当館のアート・コミュニケーター(とびラー)の案内で、館内外を散策し、建築の魅力に迫ります。ガイド個々人のオリジナリティが発揮され、それぞれ独自のツアーを展開中です。各回のツアー日時・内容は、美術館のホームページにて随時お知らせします。
障害のある方のための特別鑑賞会	特別展ごとに1回	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞できるよう、休室日に特別鑑賞会を開催しています。事前申込制で特別展ごとに1回開催し、当館のアート・コミュニケーター(とびラー)が当日のサポートをします。担当学芸員による展覧会ワンポイント・トーク(手話通訳付き)も開催します。
MuseumStartあいうえの 「あいうえのオープンデー」 【アーツカウンシル東京事業】	2019年11月16日～ 2020年1月5日	MuseumStartあいうえのは上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人が学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。「あいうえのオープンデー(仮称)」では、小中高年生とその保護者を対象とした、ミュージアムの魅力を味わう鑑賞と造形のワークショップを行います。ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を継続的に支援していきます。(要事前申込)
MuseumStartあいうえの 「あいうえの学校」 【アーツカウンシル東京事業】	○スペシャル・マンデー・コース: 2019年9月17日、9月30日、11月25日、12月9日。 各日2～3団体 ○うえのウェルカムコース: 2019年7月～2020年3月 各月1～2団体	文化財を媒介に子供たちの見る・聞く・話す・書くなどのコミュニケーションを活発にし、鑑賞を通じて観察力や、他人の意見を聞く力、自分の意見を言語化する力などを高める、学校などの団体を対象としたプログラムです。事前の授業で使えるアートカードなどの鑑賞教材や事後の学習で使える「ミュージアム・スタート・パック」なども提供します。スペシャル・マンデー・コースではアート・コミュニケーター(とびラー)が子供たちの鑑賞をサポートします。過去の豊富な事例を元に学習指導要領にも対応する授業を実施することができます。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920

<http://www.tobikan.jp>

※ 開館時間: 9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※ 休館日: 第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)